

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第1回情報のかけ橋委員会
2. 開催日時	令和2年10月8日(木) 午前10時00分～午後0時00分
3. 開催場所	5階特別会議室
4. 出席者氏名	(委員) [敬称略] <small>副市長</small> 永作友寛 山守一徳 中北直子 酒井由美 川口正人 (事務局) <small>危機管理特命理事</small> 船木精二 <small>秘書担当参事</small> 浅井嘉人 <small>広報広聴担当監</small> 岡田久 <small>主幹</small> 谷口洋子 垣本大 小林祐規
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	0人
7. 担当	松阪市 秘書広報課 広報広聴係 電話 0598-53-4312 FAX 0598-22-1119 メール kouhou@city.matsusaka.mie.jp

第1回情報のかけ橋委員会 議事録

【委員会 式次第】

1. 自己紹介
2. あいさつ
3. 情報のかけ橋委員会の活動趣旨説明
4. 平成31年度(令和元年度)の主な秘書広報課の広報活動紹介
5. SNS運用状況についての報告
6. 広報まつさかデザインのリニューアルについて
7. 市ホームページのリニューアルについて

1. 情報かけ橋委員会自己紹介

事務局 本年度第 1 回の情報のかけ橋委員会を開催します。本年度は新型コロナウイルスの影響で、4月に予定していた第 1 回情報のかけ橋委員会が延期となり、本日に至りました。それでは事項書に基づき、進めていきたいと思えます。まず、事項書①の自己紹介をお願いします。

委員 川口正人さん、酒井由美さん、中北直子さん、山守一徳さんの順に自己紹介。中谷仁志さんは、都合により欠席。

事務局 船木理事、浅井参事、岡田担当監、谷口主幹、垣本、小林の順に自己紹介。

2. あいさつ

委員長 こんにちは。本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。前年度最後の情報のかけ橋委員会を 2 月 20 日に開催しました。本年度の第 1 回を 4 月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、半年以上延期となり、今回が本年度第 1 回の開催となります。松阪市としても 4 月の新年度以降、「コロナ対策をどのようにしていくのか」について、何度もコロナ対策会議を開き、手探りの状態で行って来ました。そのような状況の中で、「市民の皆さまにどのように情報を発信していくのか？」が、とても難しく大切なことだと感じております。また、現在松阪市は新型コロナウイルス感染者が 33 名という状況です。三重県知事も発言されましたが、新型コロナウイルスに感染された方は、被害者であるにも関わらず、誹謗中傷や、良くないうわさが出回ってしまっています。感染者の個人情報を守らなければいけない中で、どこまで情報公開するのが適正なのかを考えることも、大変難しく感じています。

ホームページについては、コロナに関する情報ページへのアクセス数が圧倒的に多いです。一部の方だとは思いますが「コロナ感染者がどこに住んでいるのか？」や「年齢は？」といった情報を、詮索している影響もあると思えます。市としては、商工会議所などのお力をお借りし、経済をうまく回していかなければなりません。来年度は国からの支援も無くなってしまいかもかもしれません。市民の皆さまが今までと変わらず、生活を続けていくためにはどうしたら良いのかなど、来年度予算に関わることも含めて、委員皆さまの、ご意見を頂戴したいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

3. 情報かけ橋委員会の活動趣旨説明

事務局 資料①、資料②について説明しました。

4. 平成 31 年度(令和元年度)の主な秘書広報課の広報活動の紹介

事務局 資料③について説明しました。

5. SNS 運用状況についての報告

事務局 10月7日現在の、市 SNS のフォロワー数を報告します。
FACEBOOK のフォロワー数 2,093 人、前回委員会の 2月20日から 111 人増加。Twitter のフォロワー数 2,651 人、前回委員会の 2月20日から 1,219 人増加。Instagram のフォロワー数 2,832 人、前回委員会の 2月20日から 1,115 人増加。
FACEBOOK は伸びが少ない状況です。Twitter、Instagram はフォロワー数が大幅に増加しました。
また、YouTube については、人々の生活が変化し、テレビを YouTube で視聴するようになった影響からか、登録者数 829 人と、前回よりも 304 人増加しました。

6. 広報まつさかデザインリのニューアルについて

事務局 資料④を参照に説明しました。
前回リニューアルから、5年が経過する中で、表紙デザインは平成 30 年度に松阪木綿の柄を配置して、デザインを変更しています。
内容は、目次から始まり、その月に最も PR したいことを、目次横に配置しています。そして、毎号、特集を 4 ページ程度掲載しています。次に各部署からの発信、まつさか情報広場、お知らせ、教育・講座、募集、催し・イベント、図書館・ベルファーム便り・文化財センター催しもの案内、市長コラム、高齢者の暮らしを考える、住民協議会、まちのできごと（市内の出来事）、コミュニティ掲示板（市以外からのイベント告知など）、親子向けの健康講座・相談、市民相談、一歳になったよを、掲載しています。広報まつさかをご覧いただき、委員の方のご意見を頂きたいと思っております。

委員 9月号はページ数が増えています、どうしてですか？

事務局 広報まつさかのページ数は印刷の都合上、4 ページ区切りとなります。コロナウイルスの感染者数も減少傾向にあったことから 9 月号はイベント記事が多くありました。そのため、32 ページでは収まらず、36 ページになりました。また、4 月号以降は、コロナウイルスの影響でイベントなどが急遽中止となり、空欄が目立つ号もありました。

広報は前月の 10 日前後に、校了日に向かえるので、最新の情報を掲載することが、なかなか難しいです。

情報発信を、広報紙にどこまで掲載するのかを迷うところです。QR コードなどを使用し「詳しくは松阪市ホームページで」としたいところですが、スマートフォンの操作に慣れていない方が多いご高齢の方には、情報が伝わらない可能性が高くなります。

広報まつさかでは基本的に、2 か月続けて同じ記事を掲載するということはありませんでしたが、コロナの生活支援の情報などは、毎月掲載し、市民の方に情報が行き渡るようにしていきます。

委員 全体的なデザインは定着していて良いと思います。今回、10 月号の特集は良い構成でした。しかし、広報の中の折り込みが多くスッキリしていないので、どうにかならないのかと思います。

事務局 市政だよりや、社会福祉協議会などのお知らせがあるので、なかなか折り込みを制限することは難しいです。

委員 9 月号 25 ページの「SNS で情報発信中」のページが浮いているように思うのですが、これもデザイナーさんの作成ですか。

事務局 このページについてはまつさか情報広場の記事が校了直前に掲載中止となったことで、空きページを埋める形で掲載することとなりました。急遽の掲載であったため、元々 SNS の宣伝用チラシとして制作したものをそのまま差し込む形となり、違和感のあるデザインとなりました。今回は緊急対応であったため、このような形となりましたが、通常デザインは統一感のあるデザインを意識して作成しています。

委員 広報まつさかはカラフルで見やすいと思います。一つの情報紙として楽しめて、良くなっています。その中で、個人的に思うことは、箇条書きで読めるというよりも、しっかりと 1 枚ずつ読み込んでいかないと情報が入ってこない点です。いろんな情報が多いだけに、しっかりと 1 ページずつチェックしないと、漏れる情報があるような構成だと思います。8 月号は、まつさか情報広場のところがもっと、グループ化

されると良いと思います。月毎で、行政が打ち出したいスポットニュースが TOP に掲載されるのは良い事だと思います。しかし、問い合わせ先が小さすぎるのは問題だと思います。問い合わせを受けたいのか受けたくないのかどちらでしょうか。また、毎月同じ会社の広告が掲載していますが、広告事情はどうなっていますか？

事務局 広告は、広報にとって貴重な収入源です。しかし、広告希望を掲載していただける企業が少ないです。この 12 月は新たに 3 社の広告が増える予定ですが、可能な限り広告を増やし、収入を確保したいと思っています。まつさか情報広場の件ですが、1 ページを使って掲載する記事は、情報広場から抜き出し、特別ページとして 1 ページに掲載しています。色合いは似ていますが、注目してほしい記事です。問い合わせについては、問い合わせされたくないか・されたいかよりも、問い合わせをしなくても情報が行き渡る広報紙にしたいと考えています。できる限り、紙面で情報をお伝えし、限りある紙面ではお伝えできない部分はホームページ誘導などで理解してもらえようような構成を心掛けています。ただし、問合せをいただく方もみえますので、問合せ先が小さい記事に関しては今後検討させていただきます。

委員 右開き、左開きについてですが、基本、右開きは縦書きです。広報まつさかの縦書きは、わずか 5 ページなので、右開きにこだわる必要はないと思います。津市、鈴鹿市は左開きです。変更することは可能だと思います。なぜ今、横書きが増加しているのかというと、ホームページアドレスやメールアドレスを挿入していくからだと思います。その観点から、広報は左開き、横書きも増えてきています。また、広報紙が横書きだと、ホームページへそのまま PDF で掲載できます。これはメリットのひとつです。特集に関しては、広報コンクールで賞を取るのであれば、4 ページの特集では内容が薄いです。毎月特集を掲載する必要はなく、年に 2、3 回中身を充実させた特集を掲載するほうが良いと思います。内容にボリュームがないと、広報コンクールの全国大会では通用しません。メリハリをつけて、特集を掲載する月、掲載しない月があっても良いと思います。市民目線の評価ですが、ホームページアドレスやメールアドレスが掲載されていても、実際に入力する人はいないと思います。QR コードや検索ワードを掲載した方が良いです。こういう、小さな心配りが見やすい紙面となることはもちろん、広報コンクールにも繋がっていきます。広告については、載せたい業者さんは多くいると思います。もっと周知していくためにも、費用なども記載した広告募集の記事を毎月掲載しても良いと思います。

事務局 右開き、左開きの件については委員のおっしゃられる通り、横書きがこんなにも多いのになぜ右開きなのですか、とのご意見をいただいたこともあります。確かにあと数ページ横書きに変えるだけで全ページ横書きとなります。新聞が縦書きであったり、書籍に慣れている方などは縦書き・右開きのほうが見やすかったりということもあるので、今後引き続き検討していきます。特集についても、全国の広報コンクールで毎年良い成績を収めている会津若松市の広報紙を見ると、しっかりと特集が作られている印象があるので、全国のコンクールで賞を取るためには必要なことであるとは感じています。

委員長 市として、同じ業者と長年契約を続けているので、デザイン変更のタイミングは大きな課題です。しかし、この委員会でも、現在の広報まつさかがそれほど悪いという評価や意見があるかと言えば、そうでもないように感じます。そのような状況の中でプロポーザルによる広報紙のリニューアルをする必要があるのかなと思っています。しかし、今回リニューアルをしないのであれば、どのタイミングでリニューアルすべきなのか、デザインが定着して、見やすい広報紙であればずっとこのままで良いのかという問題があります。リニューアルについては予算も必要であり、前より悪くなったり、見にくくなったりすることは避けなければなりません。今後リニューアルをどのように進めていくかを含めてご意見をいただきたいです。

委員 このデザインを見ていると、色使いなどもうまく、見やすいので、良いデザイナーさんが制作されているのだと感じます。また、現在の業者さんは広報まつさかに結構な比重を置いて制作していただいているのではないかと思います。もし、リニューアルが必要なのであれば、大きくリニューアルするのではなく、広報紙のそれぞれのページを改訂していくというのも一つの手法だと思います。長く同じようなデザインで広報紙を発行しているところは、表紙の改訂などはされますが、中のページはそのままのデザインのところもあります。業者を変えるのであれば、ひとつの基本のデザインフォーマットを決めておくことで、引き継ぐことも可能かと思います。

委員 私は来年度ではなくても定期的に業者を変えることも必要かなと思います。それがまちのデザイナーさんの成長や、発掘につながるのではないかと思います。なので、10年間は長いかと思うので、最大8年程度などを考えていくのも一つではないかと思っています。

委員 リニューアルすることになれば入札になると思いますが、ギリギリの金額などを要求すると、余裕のある業者以外は対応できないと思います。小さな業者だと入札に力を入れることができないので、よりよいデザインを求めるのであれば、金額以外も重視するとともに、公募の幅を広げて募集することなどが必要になります。また、このコロナ禍では、業者は対応することは難しいのではないかと思います。

委員 金額の問題もあると思います。良いデザインであっても金額が大幅にあるのであれば、費用対効果をしっかりと考える必要があります。

委員長 現在の業者さんが今のままでは対応できないとなれば、入札を行うきっかけとなるかと思いますが、それを基準というのも業者任せで良くないのかなとも思います。

委員 市として長年にわたる随意契約に弊害があるのであれば、どこかのタイミングで新たな業者選定をする必要があるかとも思います。

事務局 市民に定着して見やすい広報紙を、もう一度、新たに改訂して市民から「なんで、わざわざ変えたのか？」という声が出ないかと不安もあります。

委員 この広報紙は市民に定着していると私も思いますし、このままいくと市民の方からの不満がずっと出ないのではないのかなと思います。

委員 他市の広報紙と比べても、デザインも良く、文字校正などがしっかりと行われていて見やすいです。

事務局 皆さん、ご意見ありがとうございました。改善できる点は、マイナーチェンジなども含めて改善していきます。リニューアルについては、今後も継続して検討していきますので、これからもご意見など、宜しく願いいたします。

7. 市ホームページのリニューアルについて

事務局 資料⑤を参照に説明しました。

松阪市ホームページのアクセス数が4月5月は、コロナの関係で大幅に増加しています。

委員 コロナウイルスの影響で4月頃から学校が休校になり教育委員会か

らの情報が入らず親が不安になりました。情報が配信されることは安心につながります。学校では中部電力が配信している「きずなネット」に保護者が登録し、学校の情報が入り、連絡網になっています。行政で保護者向けに発信できる仕組みがあれば学校側と連携していただきたいです。

事務局 市から情報を発信できる仕組みとして「松阪ナビ」があります。今後は「松阪ナビ」の登録者数をもっと増やしていかなければならないと感じています。そして、「松阪ナビ」で市からの情報をプッシュ通知で配信し、伝えていく必要があります。ホームページについては常に更新し、最新の情報を記載していきます。今後も、日々進化していくインターネットの世界、情報発信の媒体について情報収集をし、進化に対応していきます。

8. 今後のスケジュールについて

事務局 令和2年度第2回情報のかけ橋委員会は「11月30日(月)午後1時」より開催予定とします。